

創立以来 63万5000人以上の合格者はこうして生まれた! 東大進学会の英知を結集!

全国規模の学習塾、全国での指導実績のある進学会だからできる!

# 長野県公立高入試 “後期選抜” に対応!

中3  
限定!

授業は「継続授業(教科書ベース)」から『入試対策』へ  
テストも「合格判定テスト(全国模試)」から進化!!

東大進学会が自信を持って皆様に送る

# 長野県公立高 『そっくり』 テスト会!

本当に「そっくり」なんです!!

その1 『そっくりテスト会』を受験した人は受験日当日に「あっ、進学会のと同じだ!!」  
と大声を出しそうになるくらい、表紙からそっくりです!

その2 当然、過去の出題傾向に基づき、問題数(大問、小問の数を含め)、配点、出題形式等、

すべて **長野県入試の問題に忠実に** 作成しております。

その3 飯田本部・長野本部・松本本部・岡谷本部の各科専門講師が、

研究会、吟味に吟味をかさねた **当会、オリジナル問題** です。

例年、合格者が一番に挙げる当会の人気行事が『そっくりテスト会』です!  
生徒が支持する行事だからこそ、自信を持ってお勧めします!!

# 入試前の1ヶ月!! この時期に必要なものは!?



## ① なにはともあれ、『実戦慣れ』!!!

本番で、自分の持っている実力が全て発揮できないことこそ、  
残念で悔しいことはありません!しかし、『実戦慣れ』を家庭で  
行うには限界があります。多くの生徒と入試の雰囲気に近いもの  
を、2月「そっくりテスト会」で経験しましょう。



特に、時間配分、問題を解く順番、雰囲気慣れるための対策になります!!

## ② 傾向を分析し尽くされた『当会オリジナル問題』を使用!!

『そっくりテスト会』では2月の祝日、日曜を用いて、入試と  
同じように5教科の試験を3回行います。市販の過去の入試問  
題では、問題形式に慣れることはできても、実戦的ではありません。  
当然のことですが、昨年問題が今年出ることにはないの  
です。また試験で分からなかった問題は先生に質問ができる上、  
3回のテストともに、『〇〇高校への合格可能性 △□%』と  
いう合格判定データも出ます。



分からなかった問題は先生に質問できます!合格判定がでます。

## ③ 充実したテスト内容、テスト数が受験生の『不安』を取り除く!!

皆さんは受験が近づくとつれ、不安になっていませんか。その  
不安を取り除くには、『これだけやったんだ!』という達成感を得る  
ことしかありません。この『そっくりテスト会』では、必ず皆さん  
に達成感を味わっていただけます。



受験生の皆さん、「これだけやった!!」という充実感をもって入試を迎えましょう!

目指せ! 全員合格! 東大進学会は  
受験生を最後までバックアップ!

飯田本部  
Tel 0265-56-0463

何も見られない、  
誰も教えてくれない、  
そして時間がなし!

だから... 『真剣勝負』  
になる!

# 長野県立高校後期選抜 『そっくりテスト会』

## 《実施要綱》

### ◆日時◆

2/2(日)・9(日)・16(日)

長野県立高校後期選抜

『そっくりテスト会』(全3回)

2/11(火祝)

『直前特訓!リスニング攻略講座』(1回)

※正式な時間帯などは、後日連絡いたします。

### ◆場所◆

飯田本部

### ◆内容◆

#### 『そっくりテスト会』

指導教科…国、数、社、理、英の5教科  
指導時間…1教科45分(+解説も実施)

- ①「合格答案の作り方」
- ②「問題文の中からヒントを探す方法」
- ③「わからない問題の対処法」

冬期講習会、正月特訓講座、入試必勝ゼミ(1月からの継続授業)での学習内容をフル活用する「アウトプットの強化」が目標となります。

#### 『直前特訓!リスニング攻略講座』

春・夏・冬休みで解いた約50題のリスニング入試問題。最後にもう一度だけ『聞き取る場所』をチェックします。

### ◆受講料(税込)◆

・一般生:39,600円

### ◆申込方法◆

・継続生以外の方も受講可能です。受講を希望する場合はお電話にて本部で申し込みを承ります。

### 【そっくりテスト会時間 予定】

13:00~13:10	受験票記入
13:10~13:55	国語テスト
13:55~14:10	国語解答解説
14:20~15:05	数学テスト
15:05~15:20	数学解答解説
15:30~16:15	社会テスト
16:15~16:30	社会解答解説
16:40~17:25	理科テスト
17:25~17:40	理科解答解説
17:50~18:35	英語テスト
18:35~18:50	英語解答解説
18:50~19:00	次回確認など

※変更の可能性がございます。



## コラム 『要領がいい・悪い』



飯田地区長 高橋 正樹

よく聞く言葉ですね。いろいろな場面で使われますが、勉強の面で「要領がいい・悪い」とはどのようなことなのでしょうか? 『要領』とは「自分の持っている力を何%発揮できるか」です。だから、自分の持っている力=実力があるかないか、ではありません。だからこんなことが起こるんですね。

Aくん:実力100×要領40%=結果40点

Bくん:実力70×要領60%=結果42点

Cくん:実力50×要領90%=結果45点

さて、それでは問題です。3人の中で1人だけ合格するとします。

誰が合格すると思いますか? そう、そういうことなのです。



継続生は、他の受験生と比べると勉強量も多いし、入試傾向を踏まえた勉強をしているのだから勉強の質だって高い。つまり、「実力」はあると思うんです。ただ、要領が悪い(=自分の実力を使い切っていない)人がまだまだいると思うのです。合格判定テストの『テストの受け方』や『答案用紙の書き方』を見ていて、ちょっと悔しくなりました。あまりにももったいない、と。



全国的な「学力点重視傾向」を踏まえ、毎年進学会で実施され、最高の成果をあげている『そっくりテスト会』を、飯田本部でも実施します。

合格判定テストが1月26日(日)で最終回となり、2月以降はテストがありません。「実力」は入試必勝ゼミ総合編・完成編でさらに磨きをかけていきますので、そっくりテスト会で自分の実力を限りなく100%発揮できる「要領」を身に付けよう。

まだまだテストに対しての「真剣味」が足りない人、「1点」で勝敗が決まることの重みを理解していない人、いますよね? 精神論はあまり好きではありませんが、本当に本当に土壇場になった時、勝敗を決めるのは「執念」です。

東大進学会が「第一志望校合格」を目指す  
中3受験生を入試直前まで全力で指導します。

